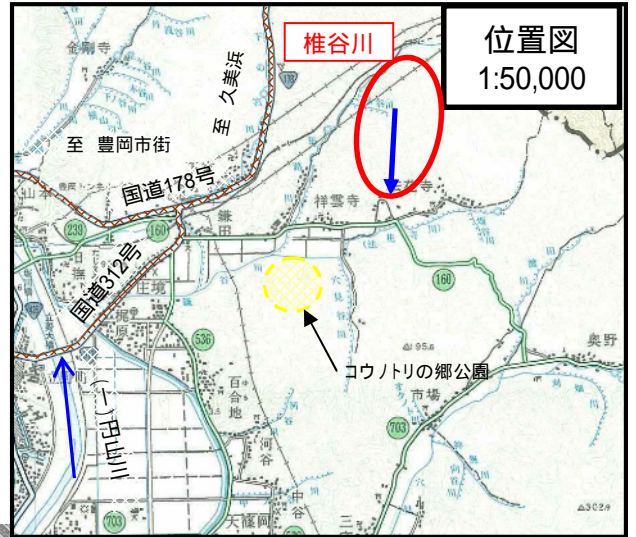


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 <small>しいたにがわ</small> 椎谷川	豊岡市 <small>ほっけじ</small> 法花寺	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
豊岡市法花寺				H24	H26
事業目的			事業内容		
<p>土石流対策</p> <p>当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から人家・県道等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。</p>			<p>・砂防えん堤工 1基 (H = 12.0m, L = 80.0m)</p> <p>[負担割合 国:1/2、県:1/2]</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(一)円山川水系鎌谷川に流入する土石流危険溪流</li> <li>・近年の降雨により山腹の浸食が進み、風倒木も多数発生するなど、流域の荒廃が進行している。</li> <li>・溪床には土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。</li> </ul>				
〔保全対象等の状況〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土石流が発生した場合の氾濫面積は約5ha(長さ500m、最大幅300m程度)に及ぶ。</li> <li>・<u>人家25戸、県道奥野但馬三江停車場線</u></li> </ul>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。</li> </ul>				
〔事業執行環境〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元要望も強く、またえん堤設置位置付近に広い作業ヤードを確保することができることから、円滑な事業執行が可能である。</li> </ul>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。</li> </ul>				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全人家が多く、県道の安全確保が重要であることから、早期着手に対する地元要望が強い。</li> </ul> <p>以上より、H24年度に事業着手し早急な対策が必要である。</p>				



しいたにがわ  
**椎谷川**  
 [豊岡市]



計画概略図  
 縮尺 1:6,000

